

高等学校日语专业教材系列

# 日本古典文学 作品选读

主编 武德庆 吴鲁鄂  
绘画 翁子扬



WUHAN UNIVERSITY PRESS

武汉大学出版社

# 日本古典文学作品选读

主 编 武德庆 吴鲁鄂  
编 写 武德庆 吴鲁鄂  
李故静 张惠霞  
绘 画 翁子杨

武汉大学出版社

## 图书在版编目(CIP)数据

日本古典文学作品选读/武德庆,吴鲁鄂主编;翁子扬绘画. —武汉:  
武汉大学出版社,2008.6

高等学校日语专业教材系列

ISBN 978-7-307-06226-9

I. 日… II. ①武… ②吴… ③翁… III. 古典文学—作品—简介—日本—高等学校—教材 IV. I313.062

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2008)第 063610 号

吴鲁鄂 翁子扬 主编

责任编辑:王春阁 吴鲁鄂 叶玲利 责任校对:程小宜 版式设计:支笛

出版发行:武汉大学出版社 (430072 武昌 珞珈山)

(电子邮件:wdp4@whu.edu.cn 网址:www.wdp.com.cn)

印刷:湖北省通山县九宫印务有限公司

开本:720×1000 1/16 印张:22.125 字数:419千字

版次:2008年6月第1版 2008年6月第1次印刷

ISBN 978-7-307-06226-9/H·570 定价:31.00元

版权所有,不得翻印;凡购我社的图书,如有缺页、倒页、脱页等质量问题,请与当地图书销售部门联系调换。

## 前 言

我国在 20 世纪六、七十年代，多靠书面和日本人交流，八、九十年代，能讲一口流利的日语为人所羡慕，而现今，更注重“流利日语”的内容，即语言所含的内涵和文化素养。所谓的文化素养，东西方可能会有不同的标准，但在亚洲儒家文化圈内，中日有着几乎一致的看法，那就是受经典文化熏染之后所养成的儒雅、睿智、灵性的气质。这个气质即素养，是丰富的内心世界的外露，在现代社会和国际事务交往中，越来越起着其他方面无法替代的作用。基于以上认识，探索性地编写了这本教材，和读者朋友们一起走进日本的古典世界。

本教材适用于大学日本语言文学专业高年级学生及硕士研究生的日本文学课教程，所选的 12 部作品，均为历代“文选”公认的经典之作。在日本分别代表了史籍、歌集、物语、随笔、说话、剧作这些文学门类的高峰。每部作品都设有题解，在 [题解] 里，概要地介绍了作品的成立背景及基本现状。在“原文抄录与解释”部分里，除日语原文外还附有 [语句解释]、[现代语译]、[读解参考] 这样的解说栏目，此外，还设置了作者介绍、作品介绍，参考评价、研究情报、参考事项等内容，从不同角度对该作品加以介绍、概括和提示。特别是 [研究情报] 部分，可为读者提供较新、较为权威性的研究信息，以期达到进一步研究该部作品之目的。

“古典”固然很难，除语法词汇生疏之外，对作品产生时代的历史背景、人们的生活习惯、审美情趣的不甚了解也加大了理解的难度。这些就像一个坚硬的外壳将作品包裹起来，让人产生古典作品晦涩、难懂的感觉。实际上，当我们把“坚硬的外壳”打开，就会感觉到古典作品非常单纯、明朗的一面，年代越往前推可能越是如此，古人那些经过无数遍咀嚼过和高度提纯的情感，意外地让人很容易吸收，能直达心底而引起共鸣。本教材之所以设置了这样多的栏目，其目的就是为了从不同角度打开日本古典文学坚硬的“外壳”。至于作者那些细致的思想情感，还要靠读者慢慢地去体味。

本教材是编写组集体努力的结果，主要工作由武德庆和吴鲁鄂教授分担完成。李故静执笔 3、9、12 课的写作，张惠霞提供了相关资料。本教材虽经编

写组多次讨论、修改，仍会有不当或谬误之处，敬请读者批评指正。

在教材编写过程中，得到了武汉大学出版社王春阁编审的鼎力相助和具体指导，在此致以深深的谢意；吴鲁鄂教授同时也担当了本教材的责任编辑，对本书从选材、内容板块设计到语言文字均给予指导，起到了名符其实的把关作用，在此，向她致以深深的谢意。特别值得一提的是，我国著名的年轻漫画大师翁子杨特意为本教材的每一篇古典文学作品创作了精美的绘画插图，为这本日本古典文学教材平添了几多耐人咀嚼的意境，在此也一并致谢。

编者

2007年12月12日

## 目次

一	古事記	1
一	原文抄録と解釈	3
	原文抄録(一)「序文」	3
	語句解釈	4
	現代語訳	5
	読解参考	6
	原文抄録(二)「邇邇芸の命」(上巻)	6
	語句解釈	7
	現代語訳	7
	読解参考	8
	原文抄録(三)「須佐の男の命」(上巻)	9
	語句解釈	11
	現代語訳	11
	読解参考	13
	原文抄録(四)「神武天皇」(中巻)	13
	語句解釈	14
	現代語訳	14
	読解参考	15
	原文抄録(五)「女鳥の王」(下巻)	15
	語句解釈	16
	現代語訳	17
	読解参考	18
二	作品紹介	19
三	作者紹介	21
四	参考評価	22
五	研究情報	23

2 | 日本古典文学作品选读

六 参考事項 .....	23
七 思考問題 .....	25
参考文献 .....	25
二 万葉集 .....	27
一 原文抄録と解釈 .....	28
原文抄録(一) .....	28
語句解釈 .....	29
現代語訳 .....	29
読解参考 .....	30
原文抄録(二) .....	30
語句解釈 .....	30
現代語訳 .....	31
読解参考 .....	31
原文抄録(三) .....	31
語句解釈 .....	32
現代語訳 .....	32
読解参考 .....	33
原文抄録(四) .....	34
語句解釈 .....	35
現代語訳 .....	35
読解参考 .....	36
原文抄録(五) .....	37
語句解釈 .....	37
現代語訳 .....	38
読解参考 .....	38
原文抄録(六) .....	39
語句解釈 .....	39
現代語訳 .....	39
読解参考 .....	39
原文抄録(七) .....	40
語句解釈 .....	40
現代語訳 .....	41
読解参考 .....	41

原文抄録(八)	41
語句解釈	42
現代語訳	42
二 作品紹介	42
三 作者紹介	44
四 参考評価	48
五 研究情報	49
六 参考事項	50
七 思考問題	53
参考文献	53
三 竹取物語	55
一 原文抄録と解釈	56
原文抄録(一) かぐや姫のおいたち	56
語句解釈	57
現代語訳	58
読解参考	59
原文抄録(二) 貴公子たちの求婚	59
語句解釈	60
現代語訳	61
読解参考	62
原文抄録(三) かぐや姫の昇天	62
語句解釈	63
現代語訳	64
読解参考	65
二 作品紹介	66
三 作者紹介	67
四 参考評価	68
五 研究情報	68
六 思考問題	69
参考文献	69
四 古今和歌集	71
一 原文抄録と解釈	72



11	原文抄録（一）	72
14	語句解釈	73
24	現代語訳	73
34	読解参考	73
44	原文抄録（二）	73
51	語句解釈	74
61	現代語訳	74
70	読解参考	74
82	原文抄録（三）	75
92	語句解釈	75
102	現代語訳	76
112	読解参考	76
128	原文抄録（四）	77
138	語句解釈	77
148	現代語訳	77
158	読解参考	77
170	原文抄録（五）	78
180	語句解釈	78
190	現代語訳	78
200	読解参考	79
210	原文抄録（六）	79
220	語句解釈	80
230	現代語訳	80
240	読解参考	80
250	原文抄録（七）	81
260	語句解釈	81
270	現代語訳	81
280	読解参考	81
290	原文抄録（八）	83
300	語句解釈	83
310	現代語訳	84
320	読解参考	84
330	二 作品紹介	84
340	三 作者紹介	85

四 参考評価	88
五 研究情報	91
六 参考事項	92
七 思考問題	95
参考文献	95
五 枕草子	97
一 原文抄録と解釈	98
原文抄録（一）春は曙（第1段）	98
語句解釈	99
現代語訳	100
読解参考	100
原文抄録（二）すさまじきもの（第22段）	101
語句解釈	102
現代語訳	103
読解参考	103
原文抄録（三）木の花（第34段）	104
語句解釈	105
現代語訳	106
読解参考	106
原文抄録（四）鳥は異所（第38段）	107
語句解釈	107
現代語訳	108
読解参考	109
原文抄録（五）暁に帰らむ人は（第60段）	109
語句解釈	110
現代語訳	110
読解参考	111
原文抄録（六）この草子、目に見え（後書き）	112
語句解釈	113
現代語訳	114
読解参考	115
二 作品紹介	116
三 作者紹介	118

88	四 参考評価	119
10	五 研究情報	120
99	六 思考問題	121
20	参考文献	122
20	源氏物語	123
70	一 原文抄録と解釈	124
80	原文抄録(一) 桐壺 第1卷	124
80	語句解釈	126
90	現代語訳	127
001	読解参考	128
001	原文抄録(二) 夕顔 第4卷	129
101	語句解釈	131
501	現代語訳	133
601	読解参考	135
601	原文抄録(三) 若菜下 第35卷	136
401	語句解釈	137
201	現代語訳	138
601	読解参考	138
601	原文抄録(四) 柏木 第36卷	139
701	語句解釈	139
701	現代語訳	140
801	読解参考	140
901	原文抄録(五) 幻 第41卷	141
901	語句解釈	141
011	現代語訳	142
011	読解参考	143
111	二 作品紹介	143
511	三 作者紹介	147
611	四 参考評価	148
811	五 研究情報	152
211	六 思考問題	152
011	参考文献	153
811		

七	方丈記	155
281	一 原文抄録と解釈	156
281	原文抄録（一）ゆく河	156
381	語句解釈	157
781	現代語訳	157
781	読解参考	158
381	原文抄録（二）安元の大火	159
881	語句解釈	160
091	現代語訳	161
501	原文抄録（三）辻風	162
491	語句解釈	162
691	現代語訳	163
791	原文抄録（四）飢渴	164
791	語句解釈	165
891	現代語訳	167
891	原文抄録（五）大地震	169
991	語句解釈	170
991	現代語訳	170
002	読解参考	171
101	原文抄録（六）自ら心に問う	172
501	語句解釈	173
501	現代語訳	174
402	読解参考	175
202	二 作品紹介	176
302	三 作者紹介	177
702	四 参考評価	178
902	五 研究情報	180
012	六 参考事項	181
112	七 思考問題	182
112	参考文献	182
八	徒然草	183
212	一 原文抄録と解釈	184
212	原文抄録（一）つれづれなるままに（序段）	184

184	語句解釈	184
185	現代語訳	185
185	読解参考	185
186	原文抄録(二) 神無月のころ(第11段)	186
187	語句解釈	187
187	現代語訳	187
188	読解参考	188
188	原文抄録(三) 折節の移り変わる(第19段)	188
190	語句解釈	190
192	現代語訳	192
194	読解参考	194
196	原文抄録(四) 万のことは(第21段)	196
197	語句解釈	197
197	現代語訳	197
198	読解参考	198
198	原文抄録(五) 蟻の如くに集まりて(第74段)	198
199	語句解釈	199
199	現代語訳	199
200	読解参考	200
201	原文抄録(六) 悲田院の堯蓮上人(第141段)	201
202	語句解釈	202
202	現代語訳	202
204	読解参考	204
205	二 作品紹介	205
205	三 作者紹介	205
207	四 参考評価	207
209	五 研究情報	209
210	六 参考事項	210
210	七 思考問題	210
211	参考文献	211
213	九 平家物語	213
215	一 原文抄録と解釈	215
215	原文抄録(一) 祇園精舎(巻一)	215

語句解釈	216
現代語訳	216
読解参考	217
原文抄録(二) 入道死去(巻六)	218
語句解釈	219
現代語訳	219
読解参考	220
原文抄録(三) 海道下り(巻十)	221
語句解釈	222
現代語訳	222
読解参考	223
原文抄録(四) 鶏合壇浦合戦	224
語句解釈	225
現代語訳	225
読解参考	226
二 作品紹介	228
三 作者紹介	231
四 参考評価	232
五 研究情報	233
六 思考問題	235
参考文献	235
十 奥の細道	237
一 原文抄録と解釈	238
原文抄録(一) 人生は旅——みちのく憧憬	238
語句解釈	239
現代語訳	240
読解参考	241
原文抄録(二) 旅立ち——弥生のあけぼの	242
語句解釈	242
現代語訳	243
読解参考	244
原文抄録(三) 那須野——八重撫子のかさね	244
語句解釈	245

現代語訳	246
読解参考	246
原文抄録(四) 信夫の里——しのぶもち摺りの石	247
語句解釈	247
現代語訳	248
読解参考	248
原文抄録(五) 造化の天工	249
語句解釈	250
現代語訳	251
読解参考	252
原文抄録(六) 立石寺	253
語句解釈	254
現代語訳	254
読解参考	255
原文抄録(七) 最上川	256
語句解釈	256
現代語訳	257
読解参考	258
二 作品紹介	258
三 作者紹介	263
四 参考評価	263
五 研究情報	265
六 思考問題	266
参考文献	266
十一 曾根崎心中	267
一 原文抄録と解釈	269
原文抄録(一) 観音廻り	269
語句解釈	271
現代語訳	273
原文抄録(二) 道行・述懐・心中	276
語句解釈	278
現代語訳	280
読解参考	284

二 作品紹介	285
三 作者紹介	286
四 参考評価	288
五 研究情報	290
六 参考事項	291
七 思考問題	292
参考文献	293
十二 雨月物語	295
一 原文抄録と解釈	296
原文抄録(一) 菊花の約(巻一)	296
語句解釈	297
現代語訳	298
読解参考	299
原文抄録(二) 浅茅宿(巻二) 一夜明けて消えた妻の霊	300
語句解釈	301
現代語訳	301
読解参考	302
原文抄録(三) 蛇性の淫	303
語句解釈	304
現代語訳	304
読解参考	305
二 作品紹介	307
三 作者紹介	308
四 研究情報	309
五 思考問題	310
参考文献	310
付録一	311
古典文法の学習	311
付録二	331
文学史年表(上代—近世)	331



古事記  
卷之四 天孫

古事記

此の古事記の古本日本式立列に關する事、(譯釋  
の皇天孫の事、中、の御所を告す。さるる皇天の事、中心には昔  
の御所を告すこと、御所の御所を告す、さるる皇天の事、  
さるる皇天の事、さるる皇天の事、さるる皇天の事、

この古事記の古本日本式立列に關する事、(譯釋  
の皇天孫の事、中、の御所を告す。さるる皇天の事、中心には昔  
の御所を告すこと、御所の御所を告す、さるる皇天の事、  
さるる皇天の事、さるる皇天の事、さるる皇天の事、



この古事記の古本日本式立列に關する事、(譯釋  
の皇天孫の事、中、の御所を告す。さるる皇天の事、中心には昔  
の御所を告すこと、御所の御所を告す、さるる皇天の事、  
さるる皇天の事、さるる皇天の事、さるる皇天の事、